平成25年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」取組成果概要

【社会基盤整備分野】

「地域ニーズに応えるインフラ再生技術者育成のためのカリキュラム設計」

（岐阜大学（代表校）、長崎大学、長岡技術科学大学、愛媛大学、山口大学）

課題・ニーズ・背景等

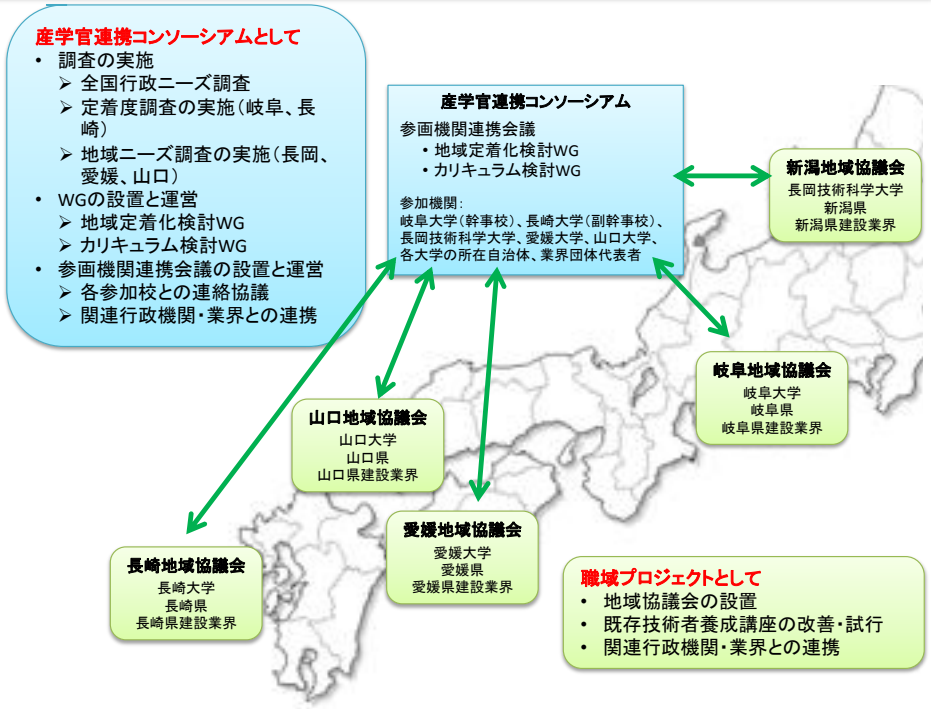
- 社会基盤構造物の急速な老齢化
- 維持管理費の不足
- 社会基盤維持管理を担う人財の不足
- 科学技術戦略推進費事業による人財育成による成果を踏まえ、全国展開を見据えたカリキュラム設計の必要性の認識

取組の概要

- 全国行政ニーズ調査
- 定着度調査（岐阜、長崎）
- 地域・行政ニーズ調査（長岡、愛媛、山口）

- コアカリキュラム、ローカルカリキュラムの設計を行い、人財育成事業未実施地域で試行するとともに、既に実施しているカリキュラム（岐阜、長崎）の改善を検討する。
- インフラ再生技術に関するエキスパート養成が社会に受容される条件を明らかにする。

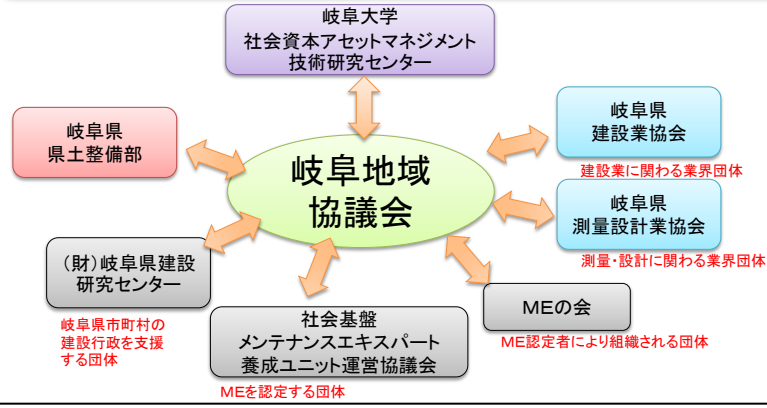
全体体制イメージ図



参加・協力機関等

- 岐阜大学（幹事校）、長崎大学（副幹事校）、長岡技術科学大学、愛媛大学、山口大学
- 各大学の所在自治体社会基盤維持管理担当部署
  - ➢ 岐阜県、長崎県、新潟県、愛媛県、山口県
- 関連する業界団体代表者
  - ➢ 建設業協会、測量設計業協会など

地域実施体制イメージ図（岐阜を例に）



平成25年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」取組成果概要

【社会基盤整備分野】

「地域ニーズに応えるインフラ再生技術者育成のためのカリキュラム設計」

（岐阜大学（代表校）、長崎大学、長岡技術科学大学、愛媛大学、山口大学）

産学官連携コンソーシアム

参画機関連携会議

- 全体総括、進捗状況管理
- 地域間調整

地域定着化検討WG

- **全国の行政機関にニーズ調査**を実施し、地域プロジェクトによる調査結果も活用してインフラ再生に必要な人財の能力、水準、人数を明らかにする
- **定着度調査**より、育成人財が地域に定着するための社会環境条件を検討

カリキュラム検討WG

- **ニーズ調査**をもとにコア・ローカルカリキュラムの科目と水準を検討
- 構築したカリキュラムの有効性検証のための講義を試行（長岡、愛媛、山口）
- 既に実施している人財育成事業における改善検討と試行（岐阜、長崎）

職域プロジェクト

- **地域協議会を設置**することによる社会基盤維持管理人財育成の受け皿整備
- カリキュラム検討WGで構築されたカリキュラムの一部の**試行**
- 試行した**カリキュラムの評価**

成果目標

- コアカリキュラム・ローカルカリキュラムの科目と水準を構築
- 構築したカリキュラムに基づき改善した人財育成事業を実施
  - 岐阜大学　社会基盤ME養成講座　20人
  - 長崎大学　道守補・補助員養成講座 30人
- 人材育成の体制が決定し養成プログラムの施行が可能となる構成機関（1校）
- カリキュラムの草案を作成する構成機関（2校）

成果の活用

- カリキュラムを再検討し、人財育成事業を継続する（岐阜、長崎）
- 人財育成事業の本格開始を検討する。（長岡、愛媛、山口）
- 成果報告会を実施するとともに、未実施県等への導入に向けた活動を実施
- 学部、大学院博士前期課程の学生教育との連携を検討

H20～24	H25（本事業）	H26以降
JST科学技術戦略推進費事業 社会基盤ME養成ユニット 観光ナガサキを支える”道守”養成ユニット （岐阜大学、長崎大学） 300名を超える認定技術者	**全国展開に向けた試行** • コア・ローカルカリキュラムの構築 • 人財育成事業の試行（長岡、愛媛、山口） • 人財育成成果の広報	**本格実施に向けた検討** • 人財育成の継続（岐阜、長崎） • 人財育成の本格開始検討（長岡、愛媛、山口） • 他地域での実施検討 • 大学・大学院教育との連携検討